

## CFCCの使用実績

## その他

### ■ 木材（北山杉）梁補強 茶室

京都府民ホール内の茶室新築工事において、軒梁の北山杉丸太材の補強にCFCCが適用されました。丸太材の背割りの部分に緊張したCFCCを埋め込み、プレストレスを入れることで丸太材を補強しました。この補強により、通常よりも柱の間隔を大きくすることができ、柱の数を減らして茶室からの庭園の眺めをよくしました。

一般的に丸太材の補強は、背割りに鉄板を入れて補強されたりしますが、錆の発生や重量増加の問題があります。しかし、CFCCの適用によりそれらの問題は解決することができます。

発注者	京都府
所在地	京都府
規模	軒梁寸法 直径 120 mm、長さ4.5 mおよび5.5 m
使用材料	CFCC 1×7 10.5 約20 m
補強材用途	木材へのプレストレス導入 (ポストテンション緊張材 / 樹脂定着)
竣工	1989年3月



< 東京製綱CFCC技術資料より >

